

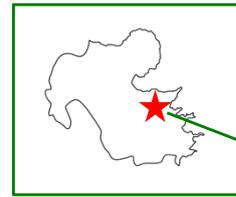
「ほんまもんの里・うすき」農業推進協議会（大分県白杵市）

R3補正
R4当初

53

背景・課題

白杵市では、平成22年に「白杵市土づくりセンター」を開設し、「うすき夢堆肥」（原材料の8割草木類、2割豚糞）を製造。完熟堆肥で土づくりを行い化学肥料・化学合成農薬の使用を避けて栽培した農産物を「ほんまもん農産物」として市長が認証。「ほんまもん農産物」は、JA直売コーナーや地元スーパー等での流通のほか、学校給食や飲食店での食材利用、また、小学校・幼稚園の収穫体験、一般市民が農業体験を行うオーナー農園等活躍の場を拡大。慣行栽培から有機栽培に転換しようとする生産者や、新しく有機栽培を志す移住者、農家民泊を行う農家など、様々な方向へ展開。



白杵市

構成員

白杵市、大分県、JAおおいた、公社、土地改良区、農業者、消費者等

品目

露地野菜

成果目標と達成状況

※最終的な達成状況は令和10年度に評価

- 「ほんまもん農産物」の認証農家戸数 50戸(R3) → 54戸(R4) → 70戸(R9)
- 学校給食での「ほんまもん農産物」の使用割合・使用量 11.4%・7.5t(R3) → 24%・15t(R4) → 25%・16t(R9)
- 「ほんまもん農産物」及び有機農産物の栽培面積（露地野菜） 80ha(R3) → 91.0ha(R4) → 100ha(R9)

取組の成果

- ①生産：土壌診断結果や堆肥成分分析結果のフィードバックによる継続的な土づくり、共同出荷体制の整備
- ②流通：集荷トラックによる農産物集出荷の試行、新規販売店舗の確保と販売促進活動、栽培実証及び保冷保存試験の実施
- ③消費：「学校給食オーガニック」プロジェクトにより学校給食に「ほんまもん農産物」使用、直売所等における「ほんまもん農産物」コーナーの設置等



白杵市土づくりセンター



「ほんまもん農産物」認証制度



「ほんまもん農産物」使用の学校給食

普及に向けた取組

白杵市では、「うすき夢堆肥」による土づくりを核とした有機農業を推進する環境の整備と地産地消の拡大に向けた「ほんまもん農産物認証制度」による生産振興及び栽培技術の向上を図る。

また、学校給食での供給率を向上させるための共同出荷体制構築と食農教育の推進、保冷保存実証試験、大都市圏への販売拡大やブランド確立に向けた調査・研究、「ほんまもん農産物ロゴマーク」を活用したPR、SNS情報発信等による消費拡大を推進。

問い合わせ先

白杵市役所 農林振興課有機農業推進班
TEL：0974-32-2220（内線211）